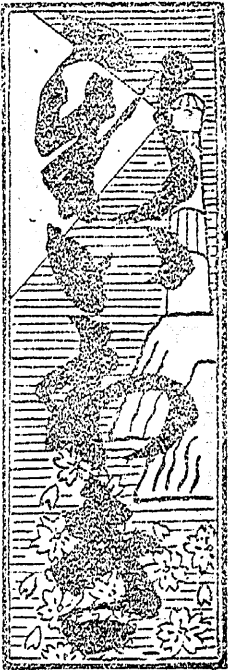


刊夕 日四十月四



日 月 日 時 分 秒
一 十 五 一 二 五 二
廣 告 料 一 行 四 十 字
廣 告 料 一 行 四 十 字
廣 告 料 一 行 四 十 字
廣 告 料 一 行 四 十 字
廣 告 料 一 行 四 十 字

座講識常
エクスナシーは法悦離
彼の境又は有頂天な感
我がの境又は有頂天な感
音響に恍惚とするも、
神佛に全身を委ねて忘
我の境に入るもの、カ
フエーで一杯やつて有
頂天になるのも其れだ

宮殿下の御視閲に

平署消防五十三名

植田四倉からは四十名

東久邇第二師團長宮殿下には
来る二十日午後一時郡山市に
於て本縣下消防生の御視閲を
行はせられるので鐵道では各
郡から募集する訓練生輸送の
ため臨時列車及び定時列車の
増結をなす筈であるが翌二十
一日は縣下消防組にも同じく

平町八年度の救護

延人員七百九十九人

六十三世帯の實人員九十三名
此の金額七百三十一圓

平町に於ける昨八年度の救護
該當者は總計六十三世帯の
實人員九十三名で延人員七
百九十九人上つた救護金額は七
百三十一圓に達してゐるが右
の該當者は即ち救護法による
疾病老若又は十三才以下の幼
者及び不具廢疾産婦等その
他生計の途が立たない或は同
情される境遇のものに限られ
同費に對しては國庫から半額
を負担され残る半額は縣と町
の等分負担になつてゐるの
で町村は四分の一を支出する
譯である昭和九年度の平町の
同費算は千六百九十五圓を計
上し之れ等の人々に出るた
けの同情を以て取扱ふ方針を
とつてゐるが八年度の救護別
を上げれば左記の如くである

平町に於ける昨八年度の救護
該當者は總計六十三世帯の
實人員九十三名で延人員七
百九十九人上つた救護金額は七
百三十一圓に達してゐるが右
の該當者は即ち救護法による
疾病老若又は十三才以下の幼
者及び不具廢疾産婦等その
他生計の途が立たない或は同
情される境遇のものに限られ
同費に對しては國庫から半額
を負担され残る半額は縣と町
の等分負担になつてゐるの
で町村は四分の一を支出する
譯である昭和九年度の平町の
同費算は千六百九十五圓を計
上し之れ等の人々に出るた
けの同情を以て取扱ふ方針を
とつてゐるが八年度の救護別
を上げれば左記の如くである

渡邊農實組合長

の産業視察

石城郡渡邊村の産業組合主催
来る二十日午前十時から午後
務署樓上に於て開かれるが從
來に於ける事務的協議の外に
納稅美談の小冊子發行を附設
刊行郡内一般に頒付する

十年この方にならぬ

一二月月餘の鱚魚皆無

外氣の影響が海温の冷氣

本縣東部に於ける今年の天候
は南風が來れば急に暖かく北
風が來ると俄かに冷たく櫻花
の開きも一週前後おそからう
と云はれる春陽の氣運は幾
作物にも悪影響が多く麥作の
如きは葉の先端に黃枯れを生
じて發育不良な現狀では收穫
半減を氣遣はれてゐる所も
あるが斯る狂的な外氣の影響
は海水にも著しい現はれで水
常な打撃であらうと

工費十一萬餘圓で

江名の上水道計畫

長崎に七千二百坪の貯水池

石城郡江名町が町の飲料水
及び漁船の給水に水道布設を
計畫し若松技師外一名による
設計中であることは會報の如
く最初の工費算十五萬圓位
かと思込まれてゐたが急上
半施行並に起債の許可を主務
省に申請した同水道は町町永
百圓である

平町の優良
納稅表彰式
今日町會議室で
平町に於ける昨八年度優良納
稅者表彰式は今十四日午前十
時町會議事堂で舉行され酒井
助役兼事務長が進行され酒井
の報告後並に一場の挨拶あ
りて左記を表彰、來賓唯野平
稅務署長、町議佐々木龍若氏
の祝辭に對し受賞者總代白土
正藏氏の答辭ありて式を閉じ
正午松ヶ岡公園で懇親會を催
したと同町の納稅組合は現在
八十二の戸数八百二十八人
員二千八百二十八人である

中堅農講の同窓會

今十四日平署會議室に於て

石城中堅農講同窓會の總
會は今十四日午前十時から平
署會議室で開催したが出席者
二百名に上る盛會で水野會
長に矢野會計長が八年度の事
業及び會計報告あり會議理想
の編纂と精神修養會等の計
劃を付議し會長以下全役員の
改選を終る午後一時から小橋
山磐城中学校長の約二時間に
亘る講演あり三時閉會した

高久の蠶業講演

石城郡高久村の養蠶實行組
では来る十六日午後七時から
同村小學校に養蠶講演會を開
催の筈であるが目録平蠶業取
締所長臨席すと

古河鎮の山神祭

石城郡古河町の古河鎮では
来る十七日山神祭を執行の筈
であるが當日は宵祭から従業
員一同休業各種の余興もある
由で相當の賑はひだらうと

炭礦講演會

石城郡内郷町の磐城炭礦淺野
會館に於て来る二十四日午前
九時から日本炭礦協會主催の
炭礦講演會を開催されるが左
記諸氏の講演がある

川部で農事講演

石城郡農會では昨秋山開地
の内小學校に於ける費用は八
萬七千九百六圓で其の就學
児童は四千二百八十八人であ
りますから児童一人一人に對し
二十圓五十三錢の費用を要
する割合になつて居ります

平町の就て
財政に
(一) 平町役場
八、行政に關する費用四萬
七千八百四十二圓
九、都市計畫に關する費用
千二百五十圓
一〇、勸業に關する費用四
千四百四十圓
一一、警備に關する費用一

萬二千八百三十九圓
一二、財産その他に關する
費用二萬一千五百三十三圓
一三、公債償還に關する費
用七萬一千三百五十九圓
計金三十三萬三千二百二十四
圓

右諸費用に關し少しく解説す
れば左の通りであります
一、神社に關する費用は子
銀會社、八幡神社、八坂

小川江水利議員

石城郡小川江水利議員同郡平
窪村の下平窪鈴木竹太郎(五
氏は胃病のため治療中であ
つたが去十二月逝去今十四日
の葬送に組合からの参列もあ
つた同氏は昭和六年四月初め
立候補に當選した議員である

主人から現金劔

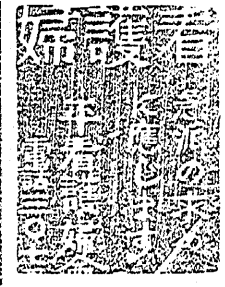
石城郡玉川村の岡小名水押
二七生れ當時住所不定無職小
泉時雄(五)は同郡好間村の北
好間字堂田五一(一)科醫院西連
寺勇方に雇はれ中の本月三日
午後九時半頃治療室にあつた
現金十六圓を携取逃走し茨城
縣水戸方面を浪々去る九日歸
郷したところを平署に檢舉取
調べ中であるが餘罪ある見込
みである

庭業方

ゼラニウムの作り方(六)

縣農石城分場 小島生
 尚ほ暑に對しては非常に弱いものであるから、藪藪によつて被ひをしないと葉焼けをあることし、根本傷めることがあり、而して何れの場合に於ても一スニウム(ニ)に三輪開花した頃より順次資品とするものであつて特に初花用に於て採取時期が遅れて満開の候に初つたものは花屋ではよくに種子と稱して非常に安價に仕切られますから其れを心しなければなりません、病虫害、ゼラニウムには病害、虫害共に殆んど見受けられませんが、栽培の容易なことは此の邊にあるものであります、害虫としては時に青虫が葉を食害いたしますが、之れは捕殺によつて簡単に除去し得られるのであります、またレンドスパイヤーも時々は発生いたしますが、カーネーション或は「ばら」などに見るやうに大きく繁殖するやうなことは少ないので時折シリンジを行ふと除去出来るものであります、病害としては切口の腐敗や石化病などがあげられて居ります、前者は摘心の場合に節部で切ることによつて防除し得られます、後者の場合は稀に發生するものでありますから被害植物は直ちに焼却することによつて蔓延を未然に防ぐことができるのであります、

◆一般印刷物も御引受致します
 御引受致します
 印刷部



入院應需
藤沼醫院
 電話五〇七番
 紺屋町

自家醬油製造
 諸原料(種選菌)大勉強
 特約販賣 山野邊藥局
 平町五丁目角

磐城共済病院 (福島縣平町電六四一)
 診療時間 午後八時前 午前八時
 内科 小兒科 醫學博士 石山謙二
 外科 皮膚科 性病科 醫學士 五十嵐雄二
 産科 婦人科 醫學士 有馬勇二郎
 泌尿科 泌尿科 醫學士 石山謙二
 皮膚科 皮膚科 醫學士 石山謙二
 皮膚科 皮膚科 醫學士 石山謙二
 皮膚科 皮膚科 醫學士 石山謙二
 皮膚科 皮膚科 醫學士 石山謙二

お醤油は ヤマフル
 醤油味噌 たひら正宗 鯉節食料品
 山崎合名會社
 山崎與三郎
 電話一〇番

ランドセル
 學生ボーン
 女學生用手提カバン
 小學生用 クツ
 ツルヤ
 電話一四〇

公園が花で
 かざれば
 カフェー
 女給でかざる
 料理自慢のうでに「エリ」をかけた店主が營業の責任を引受ました

常磐モリス株式會社
 金融、保險
 有價證券賣買
 東洋火災保險株式會社
 副業的保險部員募集

家政婦派出
 御手不足な御家庭に家政婦を派出致します
 本會は
 料金は御面談の上お望みに添ふ様御經濟向きに御相談致します

上原家政婦會
 派出多忙に付會員募集

クロネコ 跡に開業
 カフェー 天地
 從來の通り御愛顧を御願ひ致します

水野石炭店
 石炭
 コークス
 豆炭

朝日
 煙突
 煙突
 煙突

耳鼻咽喉科専門
 鈴木正男
 鈴木醫院